

令和4年予算特別委員会 教育部質疑応答 概要【令和4年3月8日(教育費)】

報告事項第4号
令和4年第3回臨時会
R4. 3. 25庶務課

No.	会派	質問者	質問内容		答 弁 内 容	答弁理事者	
			項目	要旨			
1	日本共産党 豊島区議団	小林 ひろみ	学校給食、就学 援助について	(1)	就学援助費の認定倍率を生活保護基準の1.4倍に引き上げする場合の経費はいくらか。	現在の生活保護基準、第68次の1.4倍に引き上げすると、追加で約1,130万円の予算が必要となる。	学務課長
				(2)	ロシアのウクライナ侵略、エネルギー政策に伴う物価上昇が心配されているが、今後給食費の値上げは絶対にすべきでないと思うがいかがか。	物価については常々注視しているところである。本区では、令和2年度10月から食育のための公費補助も活用しながら学校給食費を維持しているため、現時点では直接的な影響はない。	学務課長
				(3)	給食を無償化した場合の予算はどのくらいか。	全児童生徒を無償化した場合、追加で約5億3,700万円の予算が必要となる。	学務課長
				(4)	就学援助の拡大、学校給食費の拡大もぜひやっていただきたいがいかがか。	就学援助は、23区の標準的水準である。学校給食費については、平成30年度までは23区の中で一番高かったが、公費補助などを行った結果、現在、23区で4番目の水準にまで下がり、さらに他区との差も年々縮まっている。したがって、就学援助の認定基準の引き上げや学校給食費の無償化は考えていない。	学務課長
2	無所属の会	塚田 ひさこ	高南小学校の別 棟整備について	(1)	高南保育園の改築について、2年前の予算特別委員会では、マンションのギャラリーを保育所に改装して利用する旨の答弁だった計画変更になった経緯を説明してほしい。	令和元年度、区長と東京建物が協議のうえ、マンションギャラリーを借りて仮園舎にすることを検討していた。レイアウト検討の結果、改修の工事費が相当額かかることが判明したため、本計画を断念した。代替地を探したが、適地がないため、高南小学校の児童数増加も踏まえ、別棟を整備する方針に変更した。	施設整備課長
				(2)	マンションギャラリー活用を検討期間は。	令和2年4月～12月の間、検討した。	施設整備課長
				(3)	東京建物の地域貢献として、白十字への地代1億円とギャラリー解体費用3,000万円を東京建物が負担すると聞いていたが、どうなったか。	昨年11月5日に東京建物と協定書を結び、地代相当額を別棟整備事業にあててもらったことになった。金額は約9,000万円である。	施設整備課長
				(4)	解体費用3,000万円についてはどうなったか。	東京建物が直接解体するため、区への支払いはなくなった。	施設整備課長
				(5)	計画変更に伴い、保護者からは、保育園児と児童とが同じ敷地で生活することや、校庭が狭まることへの不安があったようだ。こうした保護者の声は区に届いているか。	ご指摘の意見は説明会や区民の声で把握している。学校と保育園とで協議を行い、園児・児童の生活スケジュールを確認したうえで、協力して課題に対応していく。	学校施設課長

No.	会派	質問者	質問内容		答 弁 内 容	答弁理事者
			項目	要旨		
				(6) 設計が進むにつれ、別棟整備の内容が変わり、緑が増えて遊び場も確保されている。保護者の意見も反映されているようだが、設計内容が変わった経緯を説明してほしい。	基本設計を進める中で、樹木のボリュームや外観を調整している。学校づくりは地域づくりという視点を大切にしたい。6月に基本設計終了するので、その頃改めて説明させていただきたい。	施設整備課長
				(7) 地域にも説明する機会を設けてほしい。土地が狭い保育園の改築、児童数増のための教室確保などの課題があることを認識している。本件については、保護者への対応を行い、子どもたちや地域が笑顔になれる学校づくりが進んでいる。こういった経験を踏まえた今後の施設整備の考え方を示してほしい。	高南小学校は児童が増えているが、校舎が狭い。何度も現地を見に行った。できるだけ校庭を広く確保するため、当初の予定から1.5m南側に移動した。道路からの見栄えについても、緑を増やすことで魅力ある学校を整備したい。当初のプランから大幅に変わったが、地域や保護者に満足されるような施設にしていく。	区長
3	自由民主党 豊島区議団	石橋 正史	学校改築計画について	(1) 旧耐震基準の比率は他区と比べてどうか。	近隣区では、北区は令和元年12月時点で約66%、板橋区は令和2年5月時点で約80%である。本区は計画的に改築を進めており、旧耐震比率は低い状況であると認識している。	学校施設課長
				(2) 平成14年度と比較して改築コストの㎡単価が2倍近くになっているが、その原因を説明してほしい。	東日本大震災の復興需要や東京オリンピックの需要などにより、資材が高騰している。また、職人不足のため人件費も高騰している。20年前と比較して、省エネや温暖化対策の費用も高騰している。さらに、学校に求められる性能基準も向上しているため、コスト高となっている。	施設整備課長
				(3) 今後の学校施設整備の課題は。	改築、改修に共通するのは安定的な財源確保であり、特に改築は多額の経費がかかるので基金積み立てなどの計画的な財源確保が重要である。改築については工事中の仮校舎の確保が第一の課題である。また、未改築校と改築校との教育環境の格差解消も課題である。	学校施設課長
				(4) 長寿命化計画のパブリックコメントの件数、内容について概要を示してほしい。	合計24件のご意見をいただいた。計画全体、仮校舎、改築時の要望の3つについてのご意見が主である。計画全体としては「地域の拠点となる学校施設の計画的な改築や改修」や「学校間の格差の縮小」について、仮校舎としては「仮校舎地の計画的な確保」について、改築時の要望としては「救援センターとして学校施設のバリアフリー化」についてである。	学校施設課長
				(5) 千川中学校以降の学校改築をどのように計画に位置付けていくのか。	長寿命化計画は5年後を目途に見直し、改訂をする予定。仮校舎確保や施設の老朽化、緊急度の状況などを踏まえながら、計画の見直しにあわせて、要小学校以降の改築校を決定し、計画に位置付けていく。	学校施設課長
				(6) 長寿命化改修の概要を示してほしい。	仮校舎の確保が困難な学校を対象に、「長寿命化改修」を実施する。老朽化対策とあわせて設備面のレベルアップを集中的・全面的に図るもので、現校舎にいながらの改修となる。改築校との教育環境の格差縮小を図っていきたい。	学校施設課長

No.	会派	質問者	質問内容		答 弁 内 容	答弁理事者	
			項目	要旨			
				(7)	旧朝日中学校を活かしながら、区の東側と西側のバランスよく改築計画を進めてほしい	旧朝日中学校を仮校舎として活用することで、東西のバランスを確保しながら学校改築を進めていきたい。旧朝日中学校は社会福祉法人への貸付を行う予定があるので、改築時期や手法について今後検討をしていく。	学校施設課長
				(8)	仮校舎が確保できない学校の改築の対応方針を示してほしい。	近隣の区施設の再構築の機会を窺いながら、仮校舎の確保について、校舎一体型の施設整備を含め様々な整備手法を含めて検討する。また、学校用地の確保にあたっては9割が国補助となる制度を活かし、積極的に仮校舎用地確保に向けての働きかけを進めていく。	学校施設課長
				(9)	小・中校舎一体型のメリットについて説明してほしい	プールや職員室を共用できるなど施設を合理化できる。整備コスト削減や改築スケジュール短縮など優位性もある。さらに校舎跡地を仮校舎にできるなどメリットもある。	学校施設課長
				(10)	今後の改築のスケジュールについて説明してほしい。	5年後を目途に長寿命化計画を見直す予定。全体の学校改築がさらに柔軟かつ迅速に進められるよう計画を見直し、長寿命化改修の実施校や要小学校以降の改築校などを決定していく。	学校施設課長
				(11)	他自治体では学校と他の公共施設との複合化の事例があるが、豊島区として考え方を聞かせてほしい。	区施設等との複合化については、区長部局の調整により、検討していく。 区施設の再構築状況をふまえ、学校改築をするにあたり有用なプランがある場合は、区長部局からの提案をもとに教育委員会としても検討を進めていきたい。 長寿命化計画を策定し、持続的な施設整備の基礎を整えた。複合化や校舎一体型の施設整備などにより仮校舎用地の確保に向けチャレンジしていく。区の学校全体を公平に迅速に改築を進めてまいりたい。	学校施設課長 教育長
4	自由民主党 豊島区議団	有里 真穂	就労証明の手書きについて	(1) 就労証明書を手書きするのは大変。手続きを簡素化してほしい。オンライン申請の取り組みについてどのように考えているのか (2) 印鑑が必要だった申請書類についてオンライン化は進んでいくのか。 (3) DXやPC等の技術革新による、ICTを活用した保護者、事務方双方の負担軽減について	学童クラブの就労証明書はHPにPDFファイル上がっている。事業主の負担軽減を考えエクセルファイルのように入力できる形にしていく。 申請書のほとんどは印鑑が不要になっている。今でも印鑑が必要なものについては印鑑レスにしていく。 学童クラブ以外の教育委員会の申請は、すべて印鑑を廃止している。 教育委員会も児童・生徒一人1台タブレットを整備により、学校と保護者とのやりとりのペーパーレス化を進めている。学校・保護者の負担軽減を図っている。	放課後対策課長 放課後対策課長 教育部長 教育部長	

No.	会派	質問者	質問内容		答 弁 内 容	答弁理事者	
			項目	要旨			
5	公明党豊島区議団	高橋 佳代子	高南小学校の別棟整備について	(1)	マンションのモデルルームを仮園舎にする案もあったが、その後小学校のクラスが足りないという話もあり現状の方策になったと認識している。地域の不安の声や、事業への後ろ向きのご意見もあったが、保護者や近隣からどのような意見があるのか。	この間、計画について町会やPTAにも説明した。PTA会長からも、学校にとって必要な計画であると、賛成していただいている。	学校施設課長
						保育園父母会長からも、前向きな意見をいただいて、小学校と保育園が連携して仮園舎整備、園舎の改築をすすめてほしいという声をいただいている。	保育課長
				(2)	いい案だという声をもらっている。地域ぐるみで子供たちを育てていきたい。高田地区は昔から温かいところ。モデルルームは白十字の土地で、白十字は創業地なので、土地を売らないということは地元民なら周知である。また、運動場が狭くなるという意見について、これについてはいかがか。	できるだけ南側に建設するようにした。学習指導要領上体育に必要な、砂場、鉄棒、トラックを合わせた校庭面積については現状と変わらないと認識している。	学校施設課長
				(3)	ゴムチップの張替もすると聞いている。現状はとても滑り老朽化している。しっかりやってほしい。また、植栽計画について、立派な桜は、今後の計画でどのようになるのか。	その桜2本については、樹木診断の結果、移植が困難とされた。別の桜の移植を考えている。それ以外の樹木は外構計画に基づき、伐採、新植する。また屋上緑化を含め、現状を上回る植栽が配置できるよう努めていく。	学校施設課長
				(4)	大事な桜の木をただ伐採するだけでなく、活用することなどもできるのか。	伐採した樹木の活用は可能。池袋第一小学校でもシンボルツリーだったヒマラヤスギを燻煙乾燥して保管しており、ベンチなどに活用する予定。学校などと協議して進めていきたい。	学校施設課長
				(5)	SDGsに則って取り組むようお願いしたい。運動会の際に、別棟の敷地あたりに児童席があったがそのあたりはいかがか。	運動会開催時は、トラックを囲う4辺に児童席を設置し、その後ろに保護者が観覧していた。学校にも確認し、別棟竣工後も、別棟の前に児童席を設置することは可能で、保護者は2、3階とし、バルコニーからの観覧も可能となる。	学校施設課長
				(6)	豊成小にも別棟があり、当時の野崎校長先生に説明をうけたことがある。座って屋内で観覧でき、高齢者には良い場所になると思う。また、遊具についてはどのようになるか。	動線確保のため撤去する遊具が一部あるが、新たな遊具を設置して対応する。校庭改修は熱交換塗料を用いて、遊具エリアはそのうえ柔らかいゴムチップ舗装とし、水はけのよい、足元の安全性も確保された仕様となる。	学校施設課長
				(7)	遊具の横、壁面に卒業制作がある。いつ頃かわからないが、作品の上に水道管が設置してあり、管がささっている状況。これについてはいかがか。	給排水の確認後、今回の工事で撤去し、穴をふさぐ手当てをした。	学校施設課長

No.	会派	質問者	質問内容		答 弁 内 容	答弁理事者	
			項目	要旨			
				(8)	教室が足りないのなら子どもスキップを外に出せという意見もある。学校内型が一番子供にとって安全で長く遊べて保護者からも非常に評判が高い。その点について伺いたい。	今回スキップが外に出たほうが良いという意見はほとんどない。子どもスキップ（学童クラブ）はほとんどの児童が利用している。学校内の運営は安心・安全。学校との連携もしっかりやって児童の放課後の居場所を作っていく。	放課後対策課長
				(9)	スキップ導入最優先で、3階に設置し、その後1階を使えるようにした経緯がある。結果1、3階にわかれた。今後子供が増えるなら別棟が必要になる。また、保育園については、坂の上まで通っている子が50名ほどいる。改築により受け入れ枠はどの程度増やせるか。プラスアルファのサービスは何かはあるのか。	92名定員で98名在籍である。今後、120名に定員を増やす。プラスアルファのサービスについては今後考えていく。	保育課長
				(10)	子育て環境がよくなるという感想がある。オリジン電気跡地のマンションから利用できる保育園が、我が家の近くに建設されている。高南保育園の改築で何かプラスアルファのサービスなどできるとよい。小学校のクラス不足と保育園の建て替えを同時に解決するためにはこの方法しかない。自信をもって進めてほしい。	私も再三訪れ、1.5mほど建設位置を下げるよう指示した。先日、小林研一郎さんがジュニアバンド指導にあった。高南小学校は音楽のレベルが高い、ぜひ若い方を育てていきたい、という感想をもらった。また、校長・副校長が非常に熱心に学校環境整備、まちづくりに取り組んでいる。単なる増築ではなく、拠点となるような、地域環境もあわせて魅力ある整備を実施したい。教育環境を整備してすばらしい地域になるようにしたい。高南小学校に非常に強い思いをもって。学校を拠点とし、保育園もあわせていい形になるよう努力したい。	区長
6	公明党豊島区議団	根岸 光洋	健康教育について	(1)	小・中学生男女の体力はどのような状況か。	コロナ前後と傾向は変わらない、投げる力、瞬発力が下がっている。2年度は体力調査任意。学校としても3年度と比較ができていない。	指導課長
				(2)	肥満や授業以外の運動量が減っていると言われているが、コロナ禍で制限される中で、健康対策として特別な取組があるか	パラスポーツ、家の中で体が動かせるように着目し、全校にボッチャセットを配布し特別活動でコミュニケーションが図れるようにした。	指導課長
				(3)	小学生は遊びながら体力を向上させると思うが、公園の近くの方からはコロナで在宅勤務も増えて子どもがうるさいという。校庭開放を案内しているが現状はどうなっているか。	コロナでも小学校の校庭開放は休まず実施している。	放課後対策課長
				(4)	部活動指導員との関わりや課題は。	部活動は各学校でその年で数が違うが、減っている傾向はない。部活動指導員は2名採用したが、採用したばかりでコロナが来て部活動が制限されている。人数制限や場所の確保、接触プレーのない個人競技を重点として部活動を続けてきた。これを評価しながら次年度以降増員を検討してまいりたい。	指導課長

No.	会派	質問者	質問内容		答 弁 内 容	答弁理事者
			項目	要旨		
				(5) 中学生の個人開放は注視している。中学生の健康、スポーツの向上という点で再開を検討してほしい。	コロナも落ち着いてきている。安全確認をしながら再開に向けて準備していく。	放課後対策課長
				(6) 放課後子ども教室があるがほとんど習い事やお稽古、英語だと思ふ。スポーツの割合が少ないと思ふ。増やしてもらいたいと思ふがいかがか。	昨年11月から放課後子ども教室を再開。みんなが集まってやるものはできないので今はスポーツがメイン。スポーツにも力を入れ子どもの体力増進を目標に頑張っていく。	放課後対策課長
7	都民ファーストの会 豊島区議団・民主の会	中澤 まさゆき	認定こども園について	(1) 区立幼稚園と区立保育園との分園型による認定こども園化を検討することだが、まず認定こども園の概要についてお聞かせいただきたい。	認定こども園とは、教育と保育を一体的に行う施設である。幼稚園と保育所の機能や特徴を併せ持ち、地域の子育て支援も行う施設である。	教育施策推進担当課長
				(2) 保育園と幼稚園の機能を併せ持つ施設とのことだが、区立幼稚園の園児数について教えていただきたい。	現在の区立幼稚園の園児数について、令和4年3月1日時点で3園合計79名であり、充足率43.9%となっている。	教育施策推進担当課長
				(3) 定員の半分以下という状況になるち、かなり深刻な状況だと思ふ。認定こども園化をすることにより、充足率はあがっていくと考えているか。	区立幼稚園の園児数について、平成29年の169名をピークとし、年々減少している。減少している要因としては、主に共働き世帯の増加に伴う保育ニーズの高まりにあると考える。働き方が多様化する中で、幼保一体施設である認定こども園は、区民ニーズに合致した施設と考えており、充足率は向上すると考えている。また区立幼稚園の認定こども園化を契機として、教育・保育の質の向上も図り、サービスの向上に繋げてまいりたい。	教育施策推進担当課長
				(4) 幼稚園、保育園、双方の質を高められるという点は大きなメリットだと思ふ。既存施設を生かして分園型認定こども園を検討しているとのことだが、現在の検討状況についてお聞かせいただきたい。	現在は池袋幼稚園と池袋第五保育園での分園型認定こども園を具体的に検討している。既存園舎を活用して認定こども園化を図るために必要な工事内容などの精査を行うとともに、ハード面の検討と並行して、人員体制等、ソフト部分の検討を始めているところである。	教育施策推進担当課長
				(5) 池袋幼稚園と池袋第五保育園の分園型ということだが、どのような施設となるのか。また施設の内容とクラスの配置について、具体的にお聞かせいただきたい。	0歳～3歳児が池袋第五保育園舎、4・5歳児が池袋幼稚園舎に通うことを想定している。池袋幼稚園と池袋第五保育園の分園型認定こども園化により、空きスペースのある区立幼稚園舎の有効活用が図れる、2つの園庭が使える、既存施設を活用することで園舎を新設するよりも経費が抑えられる、保育園に通っている方が幼稚園教育を受けられたり、幼稚園に通っている方が給食の提供を受けられる、といったメリットが想定される。	教育施策推進担当課長

No.	会派	質問者	質問内容		答 弁 内 容	答弁理事者
			項目	要旨		
				(6) ハード、ソフト両面のメリットがあることが分かった。年齢によって施設が別々になるということで、子供たちの交流や集団活動、あるいは職員間の連携など、園の運営に問題はないのか。	物理的に離れた建物で一体的な認定こども園として運営することで、職員の連携や子供たちの異年齢交流等、人同士の繋がりで課題があるということは認識している。他区の状況を聞くと、異年齢交流の機会の創出、職員同士の連絡体制の構築などを積極的に実施しており、分園型ならではの様々な工夫を凝らしながら運営しているという。こうした状況を踏まえ、今年の4月から幼児教育推進係長を雇用し、保幼小連携の推進、特別な支援を要する園児に対する教育など、就学前教育の推進を強化するとともに、分園型認定こども園を見据えた保育・教育内容や運営方法の検討を進めていく。	教育施策推進担当課長
8	自由民主党 豊島区議団	松下 創一郎	教育ICTについて	(1) 授業でどのようなところまでできているか。	授業ではリアルタイムでライブ配信している状況に到達している。	指導課長
				(2) オンラインはどのように活用されているか。	子供と先生が意見を交わす、ハイブリッドの状況になっている。	指導課長
				(3) 先生の習熟度の違いは顕在化していないか。	学級閉鎖が、先生の学びを止めないという意識につながっている。	指導課長
				(4) 政策データブックで、ICTを使う授業が分かり易いかというデータが伸びている。アンケートはいつとったのか。	タブレット配布後一か月後の10月末である。スタートダッシュの時期。先生も子供も慣れ親しむことから、授業で先生が活用するという事に変わってきている。	指導課長
				(5) タブレットが、授業理解や教員とのコミュニケーションに効果があると考えているか。	これまで授業で子供たちは手を挙げて答えることがほとんどだったが、少しでも分かったことを挙手ボタンを押して答えることになり、恥ずかしがりやの子も言えるようになった。	指導課長
				(6) 学習用のアプリを入れているか。	全児童生徒が使えるものとして、ドリル機能だけではなく授業でレポートを書いたり意見をまとめたりする共同作業をする総合的アプリのミライシードが入ってる。そのほか、家庭学習に使えるドリルとして、本区の企業が社会貢献として無償で提供しているものを、小中それぞれ入れている。特別戦学級の児童生徒がなぞり作業のできる機能があり、自由に学校が使い始めている状況である。	指導課長
				(7) 特別支援の子の活用状況について。	ことばときこえの学級。マスクをしていると口を使いにくいところ、タブレットで分かり易くなったという反応がある。	指導課長
				(8) 連絡帳機能等、タブレットの使い方変更について。	連絡帳だけではなく、健康観察カードとしてグーグルを使っている。教育委員会として、プロジェクトチームで活動実績を検証し、次年度継続していきたい。	指導課長
				(9) 教員の負担軽減にもつながるのでしっかりやっていてもらいたい。また、学童で、タブレットにGPS機能をつけて追跡を考えていないのか。	そういう機能も活用していくことは考えなければならない。プロジェクトチームで検討していく。	指導課長

No.	会派	質問者	質問内容		答 弁 内 容	答弁理事者
			項目	要旨		
				(10) タブレットのスペックについて。一年半経過したが、現在のスペックで良いのか。次の更新時はどうするのか。	1年、5年たてばかなり機能が向上する。教育DXと言われているが、データを活用して学習方法を変えるということが教育DXである。個人に応じた個別最適化した学習ができるようなスペックを検討していく。子供はタブレットを壊すことも多い。耐水性、耐衝撃、GPSも考えていく。	教育部長
9	公明党豊島区議団	島村 高彦	不登校・引きこもり支援	(1) 生きる力向上のために、家庭の教育が弱まっているときは、学校の教育が必要。児童生徒と教員がどのように向き合っているか。事務・保護者対応・採点等の教員負担が多い。教育委員会としてどのように対応してきたか。	教員の働き方改革として、事務サポートをするスクールサポートスタッフを全校に配置している。スクールロイヤーも学校支援として置いている。	指導課長
				(2) 豊島区では子どもと向き合う時間が少ないということはないか。	学校にどのような支援ができるのか、教育委員会事務局として考えて実施しなければならない。	
				(3) 教員本来の仕事を妨害するような課題については、いろいろな方法で、サポートする人員を増やしていかなければならない。デジタル化教育が、児童と向き合うという観点でどのような影響を与えているか。	子供によってはタブレットが入ったことで先生をコミュニケーションを交わしやすくなった子もいる。コロナ禍だからこそ対面が必要な子もいる。これからも子どものニーズに沿って対応していく必要がある。	指導課長
				(4) 外部教員・社会人を多く投入して子供に刺激を与えることが必要。新規採用だけではなく、経験のある人員をどのように導入しているか。	授業を教えるという視点では、都公立学校は教科の免許を持った教員が指導することとなっている。それ以外の支援では、様々な会計年度任用職員に、豊富な経験を持った人に助けてもらっている。	指導課長
				(5) 社会人が教員になりやすいように制限が緩和されていると聞いている。	現在豊島区では制度を使っていない。4年度は社会の力活用事業を利用し、教員免許を持たない社会人が教育に関わっていくことを1校だけ試行していく。	指導課長

No.	会派	質問者	質問内容		答 弁 内 容	答弁理事者	
			項目	要旨			
10	無所属の会	ふるぼう 知生	文化財保存活用事業	(1)	今回新規事業で2つの文化財指定登録に向けた調査事業があるとのことだが、概要についてお聞かせいただきたい。	<p>婦人之友社、東京種苗事務所・榎本家住宅の調査委託事業については、文化財保護条例に基づき、区にとって重要なものを文化財として指定するため、必要な調査を行うというもの。</p> <p>ここでいう重要なものとは、学術的価値を重視しており、その価値を、知見の深い学識経験者で構成する審議会に諮問し、文化財としてそのままの状態の後世に残すべきと答申された場合には、その答申に基づき保存をしていくという事業である。</p>	庶務課長
				(2)	婦人之友社、東京種苗事務所、榎本家母屋について、どのあたりに価値があるのか。	<p>まず婦人之友社社屋の設計者が自由学園明日館を設計したフランクロイドライトの弟子にあたる遠藤楽氏の設計ということもあり、ライトの様々な系譜を引き継いでいる建築デザインが施されているということに価値があると考えている。</p> <p>また東京種苗及び榎本家は庚申塚通り沿いに位置しており、種屋が通り沿いに昔はあった。それが本区ではあの場所にだけ残っており、建物そのものも明治のものではないかとみている。明治の建物は本区にはなく歴史的な価値があるのではないかとみている。</p>	
				(3)	区内の文化財登録、指定について、現在の数とここ数年の傾向はいかがか。	文化財については、登録し、さらにその中から、特に重要なものを指定するという流れである。登録件数は365件、そのうち指定件数は15件である。このところの傾向を見ると、1年あたりおおむね3件から5件の登録となっている。	庶務課長
				(4)	以前、旧白木屋百貨店大塚分店という、モダニズム建築の代表として、キンモトキウジ氏が設計をした、昭和12年の建築があった。当時を思い起こす大理石造りや荘厳な雰囲気のエレベーター、屋上に上がる途中の空襲を受けた痕がある等、何としてでも文化財として登録指定を、という話があったが、上手くタイミングや条件が合わず、登録とらなかったという経緯があった。この件については把握しているのか。	<p>「旧白木屋百貨店大塚分店」については把握している。15年程前にそういった話があった。文化財指定登録の制度としては、所有者に修理保存をしてもらうのが大原則である。この建物は歴史的価値があると考えていたところであるが、古い建物で色々と修復が必要であった。例えばタイルの落下の危険があり、そういった部分の修理、改修をお願いしなければならなかった。建物の改修について、諮問をする前に所有者様の建物に関する管理が難しいということもあり、断念せざるを得なかったと聞いている。しかしながら学芸員も含めて、とても残念だったと思っている。</p>	庶務課長
				(5)	双方の条件やタイミングが合わず、せっかく価値のあるものもそういう形で登録、指定ならず、最終的には2017年には解体がなされ、新しい建築物が建っており、寂しい思いも感じるところである。ハードルは高いと思いながらも、今後の文化財の登録、指定について、見通しはどのように考えているのか。	<p>国では、建築後50年以上の建物を文化財登録・指定の対象としており、本区でも戦後の建物については、数が多くないことから、登録・指定の可能性があるかとみている。ただし、悉皆で調査しているわけではないため、調査を行ったうえで、今後の検討材料にしてきたいと考えている。</p> <p>また、建物以外については、これまで地藏や庚申塔などを対象としてきたが、今後は寺社の境内にある石造物や、奉納されている絵馬などを対象としていきたいと考えている。</p>	庶務課長

No.	会派	質問者	質問内容		答 弁 内 容	答弁理事者
			項目	要旨		
				(6) 文化財保護法やそれに関する条例では、文化財を保存し、かつその活用を図る、もって国民の文化的向上に資するとあるが、活用についてはどの様にお考えか。	文化財の活用については、現存のまま活用していくことになるため、制約を受けることになる。制約の中での活用となるため、例えば、建物であれば、建物にちなんだ公開講座、建物以外であれば、文化財のまちあるきマップとしてご覧いただく、等の活用が考えられる。 婦人之友社については、所有者から、多目的な方が訪れるホールのようなものとしての活用をお考えと聞いている。また東京種苗については、すぐ裏の大正大学とのコラボレーションによる事業をお考えとの話もある。民間のものであるので、そのような連携をする上で、教育委員会も間に入り、活用について考えていきたい。	庶務課長
11	公明党豊島区議団	高橋 佳代子	GIGAスクール構想、ICT環境整備について	(1) タブレット整備をして、新年度予算には、大型提示装置更新事業で10台の予算があるが、教育委員会から資料の資料による現状は、全く動かないものが10台、壊れていて機能に大きな支障に影響はないがHDMIケーブルとの接続が悪いものが58台、画面に一部欠けのあるものが78台、壊れて一部機能が使えないものが161台とある。これでは授業で使えないのではないか。なぜ10台になったのか、教育委員会としては、予算要求はどのようにしたのか。	この調査については11月に行ったもので、この資料をもとに、動かない台数の分だけでも、とりあえず何とかしてほしいということでお話をさせていただいた。	庶務課長
				(2) 初めから10台で提案したのか、教育部長にお答えいただきたい。	新規拡充事業であり査定がある中で、今後の使用について、10台で、壊れているものを入れ替えるということで、教育部としてはそれでよしというふうにしたが、やはり現場は足りないということであり、優先順位を高めて整備を進めてまいりたいと考えている。	
				(3) すべての授業でタブレットを使うよう推進しており、教員へタブレットが配布されたが、それを提示する画面が一部欠けていたりしている。加えてこれは、10年前のものであり、修理がきかない・部品がない、となると更新するしかない。いつ壊れてもおかしくないものが山ほどある中で、どう更新していくのか。	画面上に不具合が出ている等の数について、学校へのアンケート調査の結果であり、現場で状況を職員が把握した上での数ではない。その点をできるだけ早く調査をした上で、不便がかかっている学校から優先順位をつけながら整備を図っていかなくてはならないと認識している。	庶務課長
				(4) いつ壊れてもおかしくないものがあり、壊れたら入れ替えるでは、授業に支障をきたす。一刻も早く学校現場のICT環境整備について、教育環境の格差を自覚し、進めていただきたい。	ご指摘最もである。現場の声を聴くということで、ICTのPTを開催し、私も直接出席している。ご指摘のとおり、今現場では一番の要望がこちらであると認識している。しっかりと取り組んでまいりたい。	教育長

令和4年予算特別委員会 教育部質疑応答 概要【令和4年3月10日(補足質疑)】

No.	会派	質問者	質問内容		答 弁 内 容	答弁理事者	
			項目	要旨			
1	自由民主党 豊島区議団	石橋 正史	移動教室について	(1)	移動教室の意義は。	一つ目は、校外の豊かな自然や文化に触れる体験を通して、学校における学習活動を充実発展させること。二つ目は、校外における集団活動を通して、教師と生徒、生徒相互の人間的な触れ合いを深め、楽しい思い出をつくるができること。三つめは、集団生活を通して、よりよい人間関係を形成しようとする態度を育てること、こういった意義があると考えている。	学務課長
				(2)	今年度の実施状況は。	中学校3年生の修学旅行については、10月末までに全校が無事に終了している。移動教室については、小学校5年生、6年生、それから中学校1年生の移動教室は年末までに無事に終了し、現在、中学校2年生 1校の移動教室を残すのみとなっている。残りの1校 西巣鴨中学校2年生について、来週の月曜に実施予定となっている。	学務課長
				(3)	変更した内容、選定理由は。	大きく変更した部分としては、確実な感染対策が講じられるかという観点から、目的地の変更や、宿泊数を2日から1日に短縮した。目的地の変更について主だったものは、小学校5年生は、立科林間学校を山中湖移動教室に、小学校6年生は、日光移動教室を千葉移動教室に、中学校1年生は、立科でのスキー教室を横浜移動教室に、2年生は、尾瀬などでの移動教室を成田移動教室に、3年生の修学旅行は、関西方面から石川に変更した。選定にあたっては、例えば、宿泊先はフロア等を借り上げ、1部屋の収容人数もできるだけ少なくすることで、三密を避けた空間を確保するという。移動については、貸し切りバスなどを利用するという。食事や入浴についても、三密を避ける、手洗い等の衛生管理が確実にできる環境を確保すること。さらには、緊急時の搬送先の医療体制がきちんと整備されている地域で行うことなどの条件を満たし、これらを実地踏査でしっかりと確かめた上で、実施している。	学務課長
				(4)	バブル方式の効果、意義は達成されたか。	バブル方式の効果について、緊急事態宣言下やオミクロン株の感染拡大時での実施となった学校もあったが、そのような学校であっても、事前の健康観察を含む、感染症対策の徹底により、無事に実施することができた。多くの区で中止などを余儀なくされていると伺っており、そういった意味では、本区の計画はコロナ禍であっても十分に実施できるものであったのではと考えている。また、教育的意義の達成についてでございますけれども、多くの学校からは、久しぶりの宿泊行事に、みんな満足した様子だったとの報告を受けている。昨年来、多くの学校行事が制限されてきた子供たちにとって、豊島区の学校で学んだ、貴重な体験や思い出となったのではないかと考えている。	学務課長

No.	会派	質問者	質問内容		答弁内容	答弁理事者
			項目	要旨		
				(5) 延期などの苦勞について。	<p>コロナの感染状況に本当に左右された一年であった。特に、ゴールデンウィーク明け、それから、夏休み明け直後の宿泊行事の多くは、延期を余儀なくされたので、当初の予定通り実施できたものはほとんどない。延期した際には、その都度、宿泊先の確保、各学校との日程調整などが必要となった。また、同じ宿泊先を確保できない場合には、新たな宿泊先を確保するため、その都度、実地踏査も必要となった。事務的には、教育委員会も学校も、様々な調整で苦勞はしたが、何よりつらかったのは、子供たちが楽しみにしている宿泊行事を延期するという判断であった。来週実施予定の西巢鴨中学校の2年生は、春・秋・冬と計3回延期した。子供たちもとても楽しみにしていると思うので、教育委員会としても、確実に実施ができるよう、後押しをしてまいりたい。</p>	学務課長
				(6) 来年度の実施方針は	<p>現在、コロナ感染症の先行きが見通せない中であり、コロナ以前と同様の内容ですべてを実施するのは困難であると考えている。内容は、今年度の実施内容をベースに、小・中学校の検討委員会で最終的な協議を行っているところである。教育委員会としては、移動教室・修学旅行は、子供たちにとってかけがえのない貴重な思い出となる有意義な教育活動であると考えており、今年度同様、コロナ禍であっても、感染対策の徹底を図った上で、全校が必ず実施できるよう、各学校をしっかりとサポートしてまいりたい。</p>	学務課長
2	立憲民主党 としま	古塚 としひと	都立高校入試のスピーキングテストについて	(1) 都立高校入試英語のスピーキング開始。スピーキングテストの導入が唐突。教育委員会や学校現場はどのように受け止めているか。	平成30年度都内中学校8校開始。平成2年、区内1校試行。4年度8校で実施を予定。	指導課長
				(2) 課題は。	ネイティブスピーカーとしてALTを小学校から入れて英語力を高めている。次年度デジタル教科書が入るが、タブレットを使って準備している。中学校でスピーキングテストしているが、次年度は外部会場で行う。丁寧に進路指導で対応していく。	指導課長
				(3) 課題は。	ALT予算を計上。予算に計上はしていないが、文科省が無料で全校に英語のデジタル教科書を配布する。それをどのように活用していくかが課題。	指導課長
				(4) 保護者の不安や疑問の声を払しょくするためいかに周知していくか。	入試制度が変わるときは子供も保護者不安も大きい。適正な進路選択ができるよう適切な面談や日常対応を行っている。東京都から説明が来た時に、迅速に学校に情報を提供し、わかりにくい場合は区教育委員会独自に説明を加えていきたい。	指導課長
				(5) 障害がある方への合理的配慮が必要。区教育委員会としての方策は。	これまで都がとってきた対策として、肢体不自由の生徒には普段中学校で使っている机を会場に運び込んで当日に机に使うなどの配慮等をしている。困り感を抱えている生徒が適正に進路選択できるよう丁寧に接していきたい。	指導課長

No.	会派	質問者	質問内容		答 弁 内 容	答弁理事者
			項目	要旨		
				(6) 英語力強化の方策は。	新しい学習指導要領が始まり、実用で使える英語を發揮できる学校以外の場所を提供していくことが必要。一方、そこまでのどり着かない生徒にはドリル機能など使って底上げしていきたい。	指導課長
3	豊島区無所属元気の会	小林 弘明	新型コロナウイルスワクチン接種について	(1) 5歳～11歳児の新型コロナウイルスワクチン接種クーポンが送付されたが、保護者からの問い合わせへの対応状況は。	3月2日以降、区から対象世帯へ送付されているクーポンなどについては、教育委員会から学校へ情報提供している。現時点で、保護者から学校への相談があったとの報告はないが、今後も接種できる医療機関の情報などを学校としっかりと情報共有をしていく。	学務課長
				(2) 小児のワクチン接種については、児童の保護者が接種すべきか否か判断すべきと思うがいかがか。	ワクチン接種に関連した差別はあってはならないと考える。教育委員会では、国や区のメッセージを校長会を通じて、情報提供し、徹底に努めている。今後も、小児のワクチン接種の推進にあたっては十分に配慮していきたい。	教育部長
				(3) 保護者が陽性で入院し、子供だけが陰性になった場合、どのように対処しているのか。	学校で何か困った際には、学務課にまずは一報をとということで日々コロナ対応を行っている。そのような事例が発生した場合には、保健所などもしっかりと連携し、そのご家庭の事情に寄り添った支援につなげていく。	学務課長
4	自由民主党豊島区議団	松下 創一郎	部活動について	(1) 先日、浮間中の視察に行ったが、立派な人工芝の校庭であった。豊島区には校庭の整備方針がある旨を承知しているが、丈の短い人工芝であれば導入できるのではないか。技術革新も踏まえて検討してほしい。	平成29年度に、「豊島区小・中学校の標準的な運動場整備方針」を定め、小学校においては全天候型舗装に熱交換塗料を施した仕様、中学校においては飛びにくい砂を使用したクレイ舗装とする方針に基づき、整備を行っている。基本的にはこの枠組みの中で検討していくこととなるが、見直しについては今後検討していく。	学校施設課長
				(2) 部活動指導員2名の活動内容は。	大会等に引率できる部活動指導員を配置。土日の部活動に対応できるだけでなく、非常に技術が高く安全管理ができるため、外部指導員の指導もお願いしている。	指導課長
				(3) 安全管理もしっかり指導してほしい。教員の働き方改革の一環として、部活動の外部化について、区教育委員会の方針は。	現在のところ、具体的に着手していない。学校で外部指導員を約50%導入しているところから、将来的に外部の力を借りながら実施していくことが必要である。また、学校の規模により部活を運営できないことがないよう、地域の力を借りて実施していく方針は持っている。	指導課長
				(4) 教育委員会だけで所管することは難しいので協力願いたい。教員の働き方改革は部活動の外部化がないと実現できない。中体連だけではなくクラブチームの活用を、子供たちの文化活動の推進として区長部局も推進してほしい。	CSを全校展開していく一環として、地域人材を活用して部活動を推進し、民間団体と連携していく。教育の一環としての部活動の意義を担保し、地域団体等に移行していきたい。	教育部長

No.	会派	質問者	質問内容		答弁内容	答弁理事者
			項目	要旨		
5	公明党豊島区議団	高橋 佳代子	マンガ・アニメについて	(1) 区制施行80周年記念事業でトキワ荘の夏という舞台があったが、これが10年間地方の小中学校でも行われてきたと聞いた。ぜひ豊島区の子供たちに見ていただくと、トキワ荘をもっと身近に感じ、親近感や興味も持てるのではないか。新年度に舞台は難しくても、例えば、豊島区の小中学性にトキワ荘の作品を見せるとことはできないか。	来年度ぜひやらせていただきたいと考える。	教育部長
6	都民ファーストの会豊島区議団・民主の会	永野 裕子	学校のICT化、子供を取り巻くデジタル化の対応について	(1) 学校のICT化について。タブレットが良い使い方になっている。23区で最初に一人一台タブレット配布されていたのは渋谷区だが検索禁止されている。コロナでつながることが重視されたが、本当の目標には達していない。インフラがそろっていることが自治体に必要。個別最適化の観点で、特別支援教育の対応で、個の特性を見ることが必要。デジタル教科書は個別最適な学びに必要。どのよう考えているか。	タブレットの活用した学習の良いところは、子供が学びを選択できること。特別支援、個に応じた学びという点で、動き出したところ。ドリルは補修的な要素があるが、ドリルも発展的な学習をしている児童生徒にも対応できる。	指導課長
				(2) 急な休校により子供たちが突然孤立するような状況となったことにより、授業や学びの継続に加え、家庭の状況、生活面のサポート等として、つながることを優先し、区ではIDを付与した。また保護者へのID付与は他の自治体ではあまりないと思う。この使い方については課題もあるようだが、行政と住民が安定的につながるチャンネルとなった。子供の、家庭等での重層的困難への気づきにつなげることもできる。アシスとしまの相談機能にも活用しているように、子ども家庭部等と縦割りを超えてこのチャンネルを共有できるようなあり方を深めていく必要もあると考えられるが、いかがか。	保護者アカウントを配付している区は知る限りないと思う。アシスとしまの例はあるが、まだ本格的に、どのように保護者アカウントが活用できるのかについて、PTAでの利用は若干始まっているが、全面的なものについては、区長部局と一緒に検討してまいりたい。	

令和4年予算特別委員会 教育部質疑応答 概要【令和4年3月14日(全部補足)】

No.	会派	質問者	質問内容		答 弁 内 容	答弁理事者	
			項目	要旨			
1	自由民主党 豊島区議団	松下 創一 郎	区立幼稚園について	(1)	区立幼稚園の在籍園児数の減少について、主だった要因は何と考えるか。	区立幼稚園の園児数の減少の理由について、一つは共働き世帯の増加による保育ニーズの上昇、またそれに伴う保育施設の増加、保育無償化の影響もあると考えている。	教育施策推進担当課長
				(2)	3つの区立幼稚園の職員の体制はどのようなになっているか。	職員の定数は1園につき、常勤職員として園長が1名、主任教諭または教諭2名の他、会計年度任用職員として専門の指導員・補助員が7名配置されており、合計10名の職員が、教育、保育に携わっている。	教育施策推進担当課長
				(3)	職員の体制はどのようなになっているか。	会計年度任用職員を含めて10名である。	指導課長
				(4)	南長崎幼稚園の体制は問題ないか。	椎名町小校長が兼務している。他区の例にもあるが、小学校副校長経験者を採用し安定した体制を確保している。	指導課長
				(5)	他の園でも小学校長が兼務する可能性はあるのか。	都内でも37.8%が専任幼稚園長を配置していない。	指導課長
				(6)	不在になる理由にはどのような理由があるか。	主任、副園長の経て昇任資格を得て園長になる。副園長5年経験が必要で、各区確保が難しい状況。退職園長を再任用副園長として安定的体制を確保している。	指導課長
				(7)	副園長の資格も少ないのか。	資格を持っている者もないし、元々副園長を置いていない。	指導課長
				(8)	他区から副園長を連れてくることができるのか。	副園長自体が少ない。各区それぞれで人材を確保する、他区でも人材が限られているなか、連れてくることは難しい。	指導課長
				(9)	新卒からどれくらいの年数が必要か。	教諭から8年で主任教諭、副園長まで5年程度、園長まで5年程度。経験と資格と両方見て昇任させている。	指導課長
				(10)	池袋幼稚園は今後認定こども園化を検討していくが、現在園は10名で運営しているとのことで、今後どういった体制になっていくのか。	現在分園型認定こども園を検討している池袋幼稚園では、次年度4月から雇用する幼児教育推進担当係長が池袋幼稚園園長を補佐する業務を行う。またこの幼児教育推進担当係長は園長補佐業務の他に、池袋幼稚園での幼児教育の実践を踏まえた保幼小連携や特別な支援が必要な園児に対する教育などを研究し、その成果をほかの保育施設等に展開することで、就学前の教育を推進・強化していきたい。実践、研究の成果は分園型認定こども園の保育・教育内容や運営方法に反映し、運営についての検討を進める。	教育施策推進担当課長

No.	会派	質問者	質問内容		答 弁 内 容	答 弁 理 事 者
			項目	要旨		
2	公明党豊島区議団	根岸 光洋	高齢者の健康について	(1) 高齢者の個人開放がコロナの中で2年間中止になっている。理由は何か。	感染者が出た場合団体だと代表者が連絡を取れるが個人はそれぞれ個人の対応になる。また、高齢者はリスクが高いということで中止にしている。	放課後対策課長
3	公明党豊島区議団	高橋 佳代子	女性支援について	(1) 小・中学校の個室トイレへの生理用品の設置について、新年度の予算にも新規計上されているが、この現状と今後の取組について確認をさせていただきたい。	現在、全小・中学校のトイレに設置されている。今年度は防災備蓄品を設置しているが、来年度については、学校側の要望、ひいては子供たちの要望を受けたかたちでの製品を購入し設置をしていく、というふうに考えている。	庶務課長
				(2) 今は一つの種類の製品が置かれているが、長時間や部活等でも使用できる夜用の製品が欲しいといった声も聞いているので、色々選択ができるように、細かい配慮をお願いしたい。また、必要な子については、袋ごと保健室でお渡しするといった形も取ってもらいたいと要望しているが、現状についてお聞かせいただきたい。	学校での対応については、それぞれの学校にお任せしている部分もある。個室トイレ以外にも、これまでと同様に保健室での配布もしているので、今のご意見を踏まえて、改めてそういった配付の仕方についても案内してまいりたい。	